

科目名	微生物学実習 (Practice in Microbiology)			科目コード	427
開講学科	臨床検査学科	選択区分	必修	単位数 (時間)	1 単位 (45時間)
科目区分	専門科目	履修時期	3 年次前期	関連DP	臨②③④
担当教員	北尾 孝司、荒川 裕也				
授業概要	微生物学および臨床微生物学で学んだ知識を基に滅菌・消毒方法について、培地の作製、分離培養、確認培養方法などの基本操作について教授する。さらに各種細菌のグラム染色、同定方法および薬剤感受性試験方法と判定方法について教授する。				
授業目標	微生物学で学んだ知識を基に微生物の取扱い方、滅菌・消毒方法について、培地の作製、分離培養、確認培養方法などの基本操作について修得する。さらに臨床微生物学で学んだ各種細菌の分離培地上の集落の観察方法・各種細菌の同定法および薬剤感受性試験方法について修得する。				

授業計画

回	項目	内容
1～2	微生物学検査の基本操作培地の作製方法 細菌の培養法、常在細菌	無菌操作、滅菌・消毒法、細菌の塗抹染色方法を行う 分離培地の作製方法、手指・口腔内常在細菌の分離培養を行う
3～4	グラム陽性球菌の分離培養法	<i>Staphylococcus</i> 属、 <i>Streptococcus</i> 属、 <i>Enterococcus</i> 属の分離培養検査法を行う
5～6	グラム陽性球菌の同定検査法	<i>Staphylococcus</i> 属、 <i>Streptococcus</i> 属、 <i>Enterococcus</i> 属の同定検査法と薬剤感受性試験を行う
7～8	腸内細菌科の分離培養法	<i>Escherichia</i> 属、 <i>Klebsiella</i> 属、 <i>Serratia</i> 属、 <i>Citrobacter</i> 属、 <i>Proteus</i> 属などの腸内細菌科の分離培養検査法を行う
9～10	腸内細菌科の同定検査法	<i>Escherichia</i> 属、 <i>Klebsiella</i> 属、 <i>Serratia</i> 属、 <i>Citrobacter</i> 属、 <i>Salmonella</i> 属、 <i>Proteus</i> 属 などの腸内細菌科の同定検査法を行う
11～12	ビブリオ属菌の分離培養法	<i>Vibrio parahaemolyticus</i> などの <i>Vibrio</i> 属の分離培養法を行う
13～14	ビブリオ属菌の同定検査法	<i>Vibrio parahaemolyticus</i> などの <i>Vibrio</i> 属の同定検査法と薬剤感受性試験を行う
15～16	ブドウ糖非発酵グラム陰性桿菌の分離培養法	<i>Pseudomonas aeruginosa</i> などの分離培養法を行う
17～18	ブドウ糖非発酵グラム陰性桿菌の同定検査法	<i>Pseudomonas aeruginosa</i> などの同定検査法と薬剤感受性試験を行う
19～20	ヘモフィルス属の分離培養法	<i>Haemophilus</i> 属の分離培養法を行う
21～22	ヘモフィルス属の同定検査法、グラム陰性嫌気性菌の分離培養法	<i>Haemophilus</i> 属の同定検査法と薬剤感受性試験を行う <i>Bacteroides</i> 属、( <i>Prevotella</i> 属) の嫌気状態による分離培養法を行う
23	グラム陰性嫌気性菌の同定法	<i>Bacteroides</i> 属、( <i>Prevotella</i> 属) の同定検査法を行う
成績評価方法	筆記試験 (50%)、実習ノート (50%) で評価する。	
教科書	微生物学実習書を配布する。 山中喜代治「新・カラーアトラス微生物検査」(医歯薬出版)	
参考図書等	森田耕司ほか「微生物検査学 実習書」(医歯薬出版株式会社)	
授業時間外の学習について	微生物学及び臨床微生物学 I で配布したプリントまたは教科書等を参考に復習する。次の項目について微生物学実習書及び新・カラーアトラス微生物検査等を参考に予習する。	
関連科目	424 微生物学、425 臨床微生物学 I、426 臨床微生物学 II、428 臨床微生物学実習、442 院内感染管理学、447 医学検査診断学 I、444 臨地実習 I、445 臨地実習 II、446 臨地実習 III	
備考	実 北尾、荒川：臨床検査技師 (検査機関)	